

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 12月

平成28年12月1日の推計人口 1,365,861人

世帯数 563,035世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、

世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成28年12月1日現在の推計人口は、1,365,861人で、前月(1,366,249)に比べ388人の減少となった。

市部では大村市(127)、諫早市(34)の2市で増加し、佐世保市(△213)、長崎市(△140)、対馬市(△57)、平戸市(△35)、西海市(△35)、五島市(△22)、雲仙市(△17)、壱岐市(△16)、松浦市(△11)、島原市(△4)、南島原市(△3)の11市で減少した。

郡部においては、長与町(29)、時津町(28)、佐々町(11)の3町で増加し、新上五島町(△30)、川棚町(△14)、東彼杵町(△9)、波佐見町(△9)、小値賀町(△2)の5町で減少した。

自然動態は、出生数918人、死亡数1,415人で497人の減少、社会動態は、転入者数2,675人(県内転入を含む)、転出者数2,566人(県内転出を含む)で、109人の増加となった。

2 世帯数

平成28年12月1日現在の世帯数は、563,035世帯で前月(563,071)に比べ36世帯の減少となった。

(注)

①異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみみると、現金給与総額249,673円で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ0.8%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は248,454円で、前月に比べ0.6%増加し、前年同月に比べ0.9%増加した。

特別給与額は1,219円で、前年同月に比べ、90円減少した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみみると、総実労働時間は157.9時間で、前月に比べ0.7%増加し、前年同月に比べ2.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は145.4時間で前月に比べ0.4%増加し、前年同月と比べ2.1%減少した。

所定外労働時間数は12.5時間で、前月に比べ4.2%増加し、前年同月に比べ3.9%減少した。

3 雇用

10月の常用労働者数は213,125人で、前月に比べ0.1%減少し、前年同月に比べ0.5%増加した。

【鉱工業生産指数】 …………… 10月

平成28年10月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

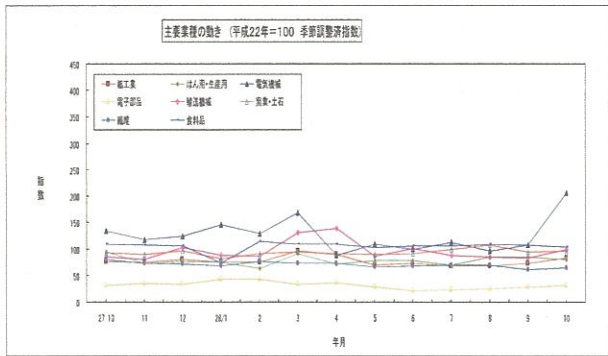
区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	82.6	13.6	85.0	5.2
九州	107.1	0.4	108.6	3.3
全国	98.4	0.0	98.7	△1.4

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】 …… 10月

1人当たり現金給与総額 249,673円

対前月比 0.1%減少

対前年同月比 0.8%増加



平成28年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が82.6で前月比は13.6%の増、原指数は85.0で、対前年同月比は5.2%の増となった。

業種別にみると、電気機械工業、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、繊維工業、窯業・土石製品工業など9業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、食料品工業、など4業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	91.9	42.7	交流発電機
輸送機械工業	18.8	14.5	修繕船
電子部品・デバイス工業	12.1	△ 2.3	半導体集積回路
繊維工業	6.5	△ 18.4	織物製外衣
窯業・土石製品工業	3.2	1.4	生コンクリート

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△ 6.2	△ 14.1	タービン
食料品工業	△ 2.2	△ 6.3	焼酎

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】 …………… 11月

総合指数(H27=100)	100.7
対前月比 (%)	0.3
対前年同月比 (%)	0.7

平成28年11月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、100.7である。

前月比は、0.3%の上昇で、上昇要因は「食料」の+1.1%、「交通・通信」の+0.2%であり、下落要因は、「被服及び履物」の△1.1%、「家具・家事用品」の△0.6%である。

前年同月比は、平成28年8月は+0.1%、9月は△0.2%、10月は△0.1%と推移した後、11月は+0.7%であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は100.0であり、前月比は0.0%の同水準、前年同月比は△0.4%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

食料	1.1%
光熱・水道	0.2%
交通・通信	0.2%

▽下落した費目

家具・家事用品	△0.6%
被服及び履物	△1.1%
保健医療	△0.1%
教養娯楽	△0.3%
諸雑費	△0.3%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】 …… 11月

消費支出(一世帯当たり) 235,238円
前月比 70,585円減 (23.1%減)

平成28年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は235,238円で、前月比23.1%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は81.2%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	65,665	△0.3
住居	17,423	△22.1
光熱・水道	18,615	△6.7
交通・通信	37,370	△55.2
教養娯楽	18,855	4.2

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。